



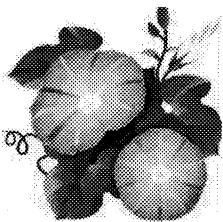
ネイチャーなら

《わたしたちは大和の自然を愛します》

発行2025年7月1日

7月 281号

奈良・人と自然の会



＜薪玉をたくさん積み上げて、薪割りの真っ最中です＞

Contents

ホームページではカラーで見ることができます

URL <http://www.naranature.com>



第24回通常総会レポ	1	私の南米の旅（パタゴニア-1）	8
ならやまプロジェクト	2	終戦直後の北海道の旅-2	9
Monthly Repo ならやま	3	きょうみ森森	10
里山の今（景観、パトロール）	4	ならやま投句箱	11
佐保川小学校学習支援レポ	5	行事案内	12
佐保台小学校田植えレポ	6	幹事会報告、行事予告	13
月例研修会（宇治伏見）レポ	7		

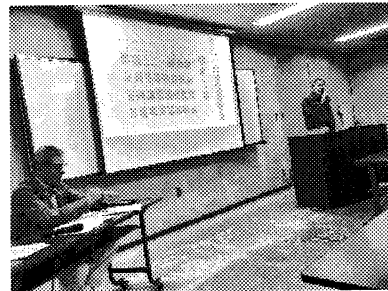
第24回

通常総会 開催

山上 伸子

<会長挨拶>

お忙しい所、総会に参加いただきありがとうございます。当会も満24歳、諸団体にも助けをいただきながら今日まで活動してきました。最盛期175名の会員を有していましたが、現在130名と約3割減、平均年齢も76.8歳となりました。シニア自然大学の実習が必修でなくなったこともあり、昨年は卒業生の入会はありませんでした。土曜活動もほとんど効果が無く、かえって木曜活動と比して参加者が約2/3と



減少したことで今年の2月で中止しました。

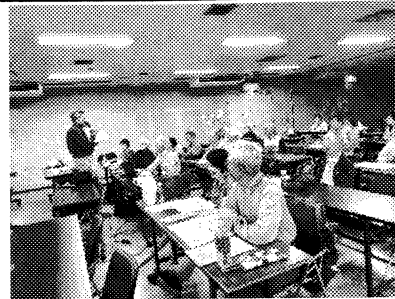
今後、身の丈に合った活動、効率的な活動、そして何に注力して活動するか、共有することが必要と考えています。総会・幹事会等で意見を交わしターゲットを決めて活動することで活動を維持できればと考えています。

総会議案の進め方は活動状況がわかりやすいように項目・グループごとに実績と計画を続けて説明する形にさせていただいています。是非、会の実態をもう一度再認識していただき、普段あまり直接に携わらないグループの活動の内容も共有していただける場になればと思います。

議事進行についても、各事項の説明は要点を簡潔に説明し、円滑に会議を進めていきたいと考えています。ただし質疑はいつでも提議していただいても結構です。限りある時間の中ですが、会の状況を共有できればと願っています。

<レポ>

5月24日、第24回通常総会が奈良市中央



公民館で開催されました。定刻13時30分、初めに出席人員数の確認が行われ、出席者

36名、委任状提出者57名、合計93名となり、現在の会員数(130名)の過半数を満たしており、総会が成立することが確認されました。

総会開催の通告のあと会長挨拶、続いて議長の選出があり、塩本さんが議長となって議事が開始されました。

まず、第1号議案「幹事退任・補選の件」について会長から説明、審議があり、承認されました。

続いて、第2号議案「活動報告(実績および計画)の件」が審議されました。ならやまプロジェクトの説明の後、里山グループから説明がなされたのを始めとして各グループから活動状況、今後の計画の報告がありました。

①佐保自然の森の取り組みを終了した経緯及び今後の管理体制について②農作物等(果樹を含む)の外部への販売について③ネイチャーならの俳句・川柳の実名投稿について等質疑された後、承認されました。

最後に第3号議案「収支及び予算の件」について①収支報告・予算表の様式について②外部講師への謝礼について等質疑された後承認され、総会は15時30分に閉会しました。



16時から場所を変えて懇親会が開催され、28名が参加されました。古川さんの乾杯の発声に続いて、歓談の輪が広がり、グループ、活動の範囲を超えて、大いに盛り上がりました。

ならやまプロジェクト

明るく・楽しく・無理をせず
あなたも私も・力合わせて

6月9日梅雨入り。肌寒い梅雨の季節・・・と思いきや、雨天はたったの4日で、灼熱の真夏日が到来。近隣県では熱中症警戒アラートが発令されている。小学児童が植えてくれた苗がきれいに並んで水田で揺れている。せっかく植えた作物のためにも空梅雨にならないようにと願う。

暑さのことを考えて山の日川の日イベント(7月12日)は昨年より実施時期を早めたが、この分では効果はあまり期待できない。それでも公募による大きな独自イベントでもあり、参加者に喜んでいただくのはもちろん私たちも大きな達成感を味わえるよう頑張りたい。

とはいっても高齢者にとってこれからの季節は特に要注意。お互いがお互いをいたわり、決して無理のないようにしながら、「10,000歳の知恵」を使って、うまくやり遂げたいものだ。



さわやかに連なって咲く小さな花穂。
私(ネジキ)はここよと呼び掛けてくる。
(里山林頂上付近にて 5月29日)

7月3日から当面の間、活動は午前中となります

7月の活動特記事項 活動日:3(木),10(木),17(木),25(木),31(木)

7月3日(木):協働活動(アダプトプログラム)

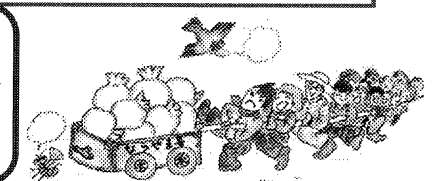
7月12日(土):夏だ!休みだ!里山で遊ぼう! (雨天13日に順延)

7月の各グループ活動予定

グループ	活動予定
里山	里山林内整備(No.18,19)、楢木置場の日よけ対策 遊びの森のイベント準備と撤去、薪割り
エコファーム	水田の除草、野菜の収穫、ジャガイモ畑跡地整備、ナスの支柱立て、 スイカ・瓜の鹿・鳥対策、里芋畑の除草・灌水、畑へのチップ入れ
景観	整備:ビオ・水田周り、第1駐車場・緑陰広場、梅林・第2駐車場、第3駐車場、 彩の森の草刈り ビオ:池・水路の景観保全・整備、タナゴ生育状況定期調査 花:道路沿い花壇、山野草園の草引き
パトロール	1~3コースパトロール、観察路草刈り・丸太階段ロープ補修整備 水路橋補修
果樹	あんず・スモモ、ブルーベリー収穫、鳥よけネット除去、実りの森除草

活動日:毎週木曜日 当面の間9:00~12:30(夏時間)

前日の17時発表の気象庁予報(NHKTV(奈良)19時前放送)の天気予報で、奈良県北部の午前中の降雨確率60%以上の場合は翌日、翌日も同予報であれば中止



Monthly Repo. ならやま

富井 忠雄

5月22日(木) 曇り時々雨

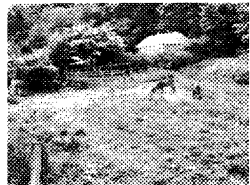
56名+近大生2名

雨模様で参加者が少なかった。月例研修会の食事内容の案内など。

里山 G は緑陰広場のカエデの枯死木の処理、水路の橋の架替え材料の加工、薪割り。エコ G は田植えの準備、大根、菊菜の収穫、夏野菜をミニポットに移植。景観 G は BC、梅林の草刈り、蜜蜂の巣箱周辺の整備。花班は山野草園の草引き。ビオ班は田貝の調査、ザリガニ駆除、南北の水田間にパレット橋を作る。パトロール G は観察路2コースのパトロール、保護植物の周辺の草刈り、自然教室の打ち合わせ。果樹 G は桑の実の収穫、竹の搬送、ごごみの収穫。

5月29日(木) 曇りのち雨 72名

6月5日の田植えの打合せ、昼から草刈りの講習会(雨のため順延)、鹿2頭現れる。



里山 G は機関車広場でのチップパー作業、No.19地区の整備、間伐、草刈り、薪割り。エコ G は水田の畔の整備と田植え用のテープ張り、大根などの収穫、オクラの植え付け。景観 G は第2駐車場周辺の草刈り、タケノコ掘り、蜜蜂巣箱周辺の整備。花班は第2駐車場周辺花壇の草引き。ビオ班はザリガニ駆除、水路の点検。パトロール G は観察路3コースのパトロール、コスモスの棚作り、佐保川小学校学習支援の準備。果樹 G は桑の実の収穫、山芋の棚の整備、排水溝の埋め戻し。

6月5日(水) 晴れ 70名

+30名(佐保台小児童27名+教員3名)

+3名(奈良テレビ、毎日新聞)

佐保台小学校5年生の田植え実習。協働活動

として各 G から5名ほど参加。昼から刈払い講習会を行う。

里山 G は No.19 地区の整備、間伐、下草刈り、機関車広場横でのチップパー作業。エコ G は田植実習の支援、大根、ブロッコリーの収穫、除草作業。景観 G は梅林、緑陰広場の草刈り。花班は山野草園の草刈り。ビオ班は西池内の草刈り。パトロール G は観察路2コースのパトロール、21日実施予定の佐保台小学校自然教室の下見、水路橋補修。果樹 G は桑の実、グミの収穫、倉庫の整理、除草。

6月12日(木) 曇り後晴れ 65名

協働活動でアダプトとシイタケ櫓木のホダ起こしを実施。21日の佐保台小学校自然教室、26日の感謝祭、7月12日の里山で遊ぼうの打ち合わせ行う。

里山 G はシイタケ櫓木のホダ起こし、No.19地区の整備と下草刈り。エコ G は水田のコナギ除去、大根、ジャガイモの収穫、畑の除草。景観 G は杉林、彩の森の草刈り。花班は駐車場横花壇の草取り。ビオ班はザリガニ駆除、26日のビオ水生生物観察会の打合せ。パトロール G は観察路の笹刈り、佐保台小学校自然教室の打合せ。果樹 G は協働作業に参加、講師による果樹の講習会。梅の収穫。

6月19日(木) 晴れ 67名+近大生3名

気温が35度近くになり厳しい活動日に。

里山 G はチップパー作業、No.19地区の整備と下草刈り、薪割り。エコ G はジャガイモの収穫、畑の除草、猛暑・少雨対策(散水)。景観 G は竹林整備と JR 沿いの草刈り。花班は第2駐車場横の草取り。ビオ班はタナゴ池の調査など。パトロール G は観察路3コースのパトロール、観察路・四季の丘・花壇の整備、アサガオ棚づくり、佐保台小自然教室の準備。果樹 G はカミキリ虫対策としてイチジクの木のネット張り、梅、ブルーベリー・あんず・スモモの収穫。

景観グループ

どうする! からもう2年

氏本 仁志

ゆうれい会員だった私がならやま活動に参加しだして早くも2年、あっという間だ。

景観グループ整備班に所属し、夏季は草刈り機・自走式モア・スパイダーを使って草刈り、冬季はのこぎり・剪定ばさみ・チップパー機を使用して竹林整備が主な活動内容である。ちなみに若い? 私は草刈機で斜面担当になった。

のらりくらりと作業をしているのかと思っていましたが、オイオイ! なんと皆さん全力モードで草を刈る。驚いた、これは負けられない。

何を勘違いしたかエンジン全開で草刈機を振りまくる。気合は入っているつもりだがエンジン音がうるさいばかりで上手く刈れていないし危ない! 危険である。これはいかな。グループ内外に潜んでいる草刈り名人の皆さんからアドバイスを受けながら「明るく、楽しく、無理をせず」小さなことからコツコツと(パクリ)、まずは草を刈る2年目の草刈り坊主でございます。

竹林整備は、竹をノコギリで切り倒し、5~6mに切り分け、枝を取り除く作業なのだが思ったより重労働で冬なのに汗をかく。中は空洞なのに要領が悪いのか? まあいい、切りまろう。切り落とした竹と枝は間伐名人の指示で数ヶ所に積み重ねる。その後チップパー機に通して粉碎していくのだが私の草刈り機よりメチャクチャ音がうるさい。とにかくうるさい。ヘッドフォンのような防音保護具を着用しさらにゴーグルとマスクも必需品だ。ただ私が作業をするとすぐにチップパー機が止まってしまう。壊れた。修理だ。JAだ。なんで! 困った。非常に相性が悪いようだ。なんだかんだ言いながら、ならやま活動のグループを超えた皆さんのおかげで還暦以降も楽しく過ごせているように思う。妄想か? それとも? まあ、今が良ければええか。



里山の今

パトロールグループ

田舎の思い出

山崎 久平

今、島根の田舎で毎日遊び回った時のことを思い出します。田舎は周り4面は山に囲まれ、中を川が流れていた。海に行くにも3kmくらいで、6月に入ると山に毎日のように野イチゴを取りに行っていた。その時、山から鬼グモを捕まえて帰った。そのクモは友だちのクモと喧嘩させる為です。家のまわりに巣をつくらせ、喧嘩させる為、毎日えさを与えた。

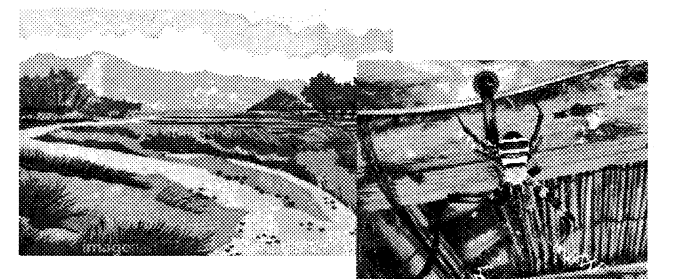
川ではアユを取る為にサンショの青い実を多く集めた。川上で石で叩いて潰し、川に流して川下で弱ったアユを網ですくい取る。飽きたら川の淵で箱メガネを使って15~20cmぐらいのボッコをアミでつかまえる。それに飽きたら別の魚を取る。ギギなどが取れた。

夕方にウナギを取る為に竹のウロを川下に向けてカゴをつけ、川底に沈める。時にシジミ取り。川エビは大きさ5cmぐらいが多いので、バケツ半分ぐらいがすぐ取れた。

時には舟をこいで海に平目やタイ釣りにいった。海ではヨサベといって、夜8時ごろ磯の浅瀬にタコやアワビ、サザエが磯の浅瀬の岩に上がってくるのをカーバイトランプを持ってよく取りに行った。

7月になると人が海に泳ぎに行くのでタコやアワビが岩に上がって来なくなり、取れなくなる。

まあ良く動き回っていたものです。その時見た時のことを思い出して、今奈良に来ています。



鬼蜘蛛(コガネグモ)

佐保川小学校学習支援レポ

—4年生校庭観察会—

坪井 都子

5月30日の天気予報は、ギリギリまで2転3転し、前日に室内で「葉っぱの写し絵」と決定しました。しかし当日は何と快晴、急遽校庭の観察会に変更、慌てて木の番号札や校庭の地図等を用意しました。

元気な4年生は30名ずつのふた組です。7~8名ずつを案内しました。晩春の木々の様子と特徴を、五感を使って観察してもらいたい、特に、観る・触る・嗅ぐを大事にして案内しました。



案内した17種の内、特長的な樹木とそのポイントを紹介します。

- ・クスノキ；揉むと独特の香りがする、樟脳として衣類の虫除けにする。
- ・ウメ；実の発見と用途、ウメの開花はいつ？
- ・サツキ；斑点模様は何のため？
- ・アラカシ；鋸歯のある葉の特徴、2年成りのドングリを見る。
- ・イロハモミジ；翼のついた種子の発見と向き、

名前の由来

- ・アキニレ；木肌の特徴、剥き出しになった根っ子の広がりや樹形との関係
- ・クロガネモチ；小枝の部分の色が黒色
- ・ビワ；ビワの実を見つける。
 - 冬に開花、実をつけ、夏に黄色く熟す。
 - 有毒性もあるが、ビワ茶や湿布として有効。
- ・イチヨウ；葉の形、オスの木・メスの木があり、メスの木に銀杏が生まれる。
- ・ケヤキ；木の姿が箒を広げた形、樹皮の剥がれ模様が渦巻き、街路樹として植えられる。
- ・オオシマザクラ；築庭にあるソメイヨシノとの違い、桜餅の葉になる。
- ・ヤマモモ；若い実を発見する。オスの木・メスの木のことで、葉の裏の黄色の斑点を虫眼鏡で見る。
- ・キリ；成長が早い→女の子誕生で桐を植え、結婚する時、桐の筆筒を作り持たせたという昔話。

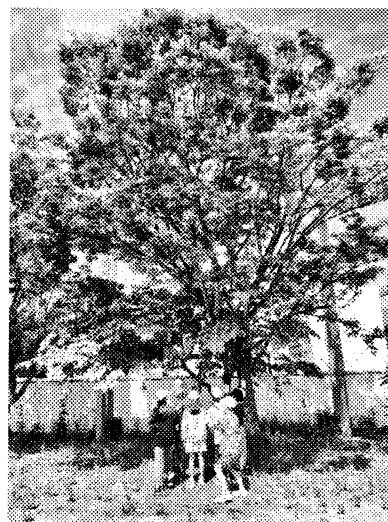
今回の観察会を振り返ると、良かった点とたくさん課題もありました。

◎ひとつのグループが7~8名というのは、最適だった。

◎子どもたちは実を発見するととても興奮し、興味関心を募らせた。五感を使って観察することは、大変意義深い学習方法だった。

◎天気の予測がつきにくい時は、雨天時のだけでなく、晴天時の準備も完全にしておくこと。今回、晴天時の準備はほとんどなかったため、説明時に何度も不備を感じた。

次の観察会では、これらの振り返りをしっかり活かしたいものです。



佐保台小学校5年生 田植え体験レポ

梨本 哲

6月5日晴れ。今日は17回目となる佐保台小5年生による田植え体験の日です。朝礼後、エコグループを中心とするスタッフ一同が最終準備を進めている中、10時前に校長先生が来られ、そして奈良テレビ(2名)と毎日新聞(1名)から取材に来られました。

やがて先生2名に引率されて児童27名(男子17名、女子10名)が到着、「早く田植えがしたい!」と元気な声が聞こえます。児童たちはスタッフに赤色たすきをかけてもらい、はだしになり、田んぼ南側に集合しました。行事案内看板には「佐保台小学校5年生児童 農事体験(田植え) 奈良・人と自然の会 公益財団法人花と緑の博覧会記念協会助成事業」と表示されています。

10時10分過ぎ、千載会長から「いい天気で田んぼが待っています。10月には稲刈り体験して給食でその米を食べてもらいます。田んぼの状況を是非見に来てください」との挨拶。

次に校長先生から「児童の数より多いスタッフの皆さんに感謝します。児童のみんなは田んぼの大変なお世話をいただいている状況を時々見に来てください。」との挨拶がありました。

そして、鈴木顧問からの「苗半作」と書いたパネルを児童たちに見せながら、「苗の出来栄で稲の出来不出来も決まるという意味で、今年の苗は出来栄が良くて、きっと良い稲が出来ると思うので頑張って植えてください。」との激励の言葉に続いて、スタッフから苗の植え方について実演を含めた説明がなされました。

児童たちは自分の名前を書いた木の札を持ち、



北側田んぼ(はぐくみ)に14名、南側田んぼ(未来)に13名が、南北90cm間隔に白色ロープで仕切られたレーンに1名ずつ入り、名札を田んぼの西端に立てました。いよいよ田植え開始です。

田んぼの南北両端にスタッフが30cm間隔に赤玉の目印がついたロープを持ち、スタッフが児童たちにその赤玉を目印に苗を植えるよう説明をしました。笛の合図により苗の植え付けがスタートしました。一列全員が植え付け完了したことをスタッフが確認し、笛の合図で赤玉ロープを東へ30cm移動、児童は後ずさりして苗を植え付けます。



泥に突っ込んだ足を動かすのは大変で、なかなか進みません。植えた苗も水面に浮いたりして、最初は要領を得ませんでしたが、回数を重ねるごとに上手にできるようになり、11時頃にはなんとか終点の田んぼ東端に到着できました。

終了後、テレビカメラに向かってインタビューに答えている子供たちもいました。

田植えを終えて田んぼから出て足と手を水で洗い、田んぼ南側に集合。ここで周辺に落ちている桑の実の美味しさに大騒ぎ。「ならやまには他にもたくさんの実ができるよ。カブトムシもいるからいつでも遊びに来てください。」との言葉とともに「桑の実」と「グミ」がプレゼントされました。子供たちと引率の先生からは気持ちあふれる感謝の言葉をいただきました。

最後に、田んぼの神様に稲が無事育つことを祈りましょうと、花を供えて無事終了しました。スタッフの皆さまご苦労さまでした。

月例研修会

宇治伏見レポ

青木 芳一

6月10日9時30分に参加者26名が近鉄桃山御陵前駅に集合しました。関西地方は昨日梅雨入りし、朝から雨模様でした。

駅から穏やかな坂道を歩いて、見えてくるの



は御香宮神社でした。御香宮神社は、862年社殿を修造した記録が

あります。神功皇后を主祭神とし、夫の仲哀天



表門前で説明

皇、子の応神天皇ほか六神を祀っています。豊臣秀吉は伏見城築城の際に当社を城内に移し、鬼門の守護神とし

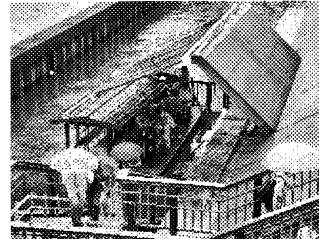
て祀りました。1605年徳川家康は元ある場所に移しています。鳥羽伏見の戦い(1868年)では官軍(薩摩藩)の本営となり、大手筋を挟んで南側にあった幕府軍(会津藩、新選組)の本営(伏見奉行所)を砲撃して陥落させました。

表門は重要文化財で堂々とした立派な門で、1622年に徳川頼房が伏見城の大手門を貰い受け当社に寄進し、正面上部の墓(かえる)股の彫刻は、中国の二十四孝(孝行優れた24の人物)の孟宗、唐婦人、郭巨、楊香の4つが並んでいました。

拝殿は1625年に徳川頼宣の寄進によって再建され、豪壮華麗な手の込んだ彫刻によって埋められていました。

本殿は重要文化財で、1605年に徳川家康の命令で板倉勝重が普請奉行となって再建。1990年の修理で極彩色の彫刻が復元しました。本殿の近くにある御香水は、伝承によると境内より良い香りの水が湧き出し、その水を飲むと

病が治ったので、清和天皇から「御香宮」の名を賜ったと伝わっています。明治以降涸れていたのを1982年に復元し、環境庁より名水百選に認定されました。豊国社(祭神豊臣秀吉)が1873年に建立されましたが、東照宮(祭神徳川家康)と同じ境内に祀る神社は珍しいとのこと。

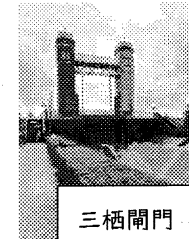


御香宮神社から15分歩き、十石船乗り場に着きました。20人乗りのため2班に分かれ11時より乗船しました。十石船(じっこくぶね)の特徴は、船底は平らです。荷物を積みやすく、浅い水路を運行するためです。所要時間50分の船旅で、



酒蔵

宇治川派流及び濠川(伏見城の外堀)沿いは、酒蔵が立ち並び、柳並木と見頃の紫陽花が咲き風情が



三栖閘門

ありました。船旅の折り返し地点にある三栖閘門(みすこうもん)で下船しました。三栖閘門は、濠川と宇治川の水位が違う川を通行するため、パナマ運河

の設計図を取り寄せ昭和初期に作られました。水路の水位を、二枚の赤い鉄扉を使い仕切り、行く水路に合わせて進みます。1962年に水門は操業を停止しています。操作室だった部屋を改装した資料室を見学して復路の船に乗りました。昼食は、京阪伏見桃山駅近くの「櫻」で

取りました。昼食後、酒蔵のある道を歩いて十石船乗り場の近くにある坂本龍馬の定宿で知られる寺田屋に



寺田屋

向かい、建物には希望者が入りました。見学後、弁財天が本尊の長建寺を拝観しました。朝から降り続いた雨が時々強くなりましたので、月例研修会は14時30分に解散しました。

私の南米の旅

パタゴニアの旅-1

木村 裕

4月にパラグアイに赴任して初めての任国外旅行がアルゼンチン南部パタゴニア地方の旅でした。日系旅行社の主催でパラグアイに赴任しているJICA(国際協力機構)の関係者を38名参加の大所帯のツアーでした。日本語、添乗員付きのオンブにダッコのあなた任せの旅でした。12月27日、11時半に全員空港に集合し、13時半発の便に搭乗する予定でしたが、時間になっても搭乗する飛行機はやってこず、遅れの案内放送もなく、みなさんすきっ腹を抱えてまだか! まだか! 結局1時間遅れの14時に110人乗りの小型ジェット機で離陸。お待ちかねの機内食(パン、生のニンジン、千切り、クラッカー、ケーキ)は見た目も、味も、パツとせず、量も少なくてがっかり。



2時間後にブエノスアイレスに到着。南米のパリと言われるようにヨーロッパ風の趣のある高層ビルが立ち並び、10車線もあるような広い道路が市の中心部をつらぬき、パラグアイの首都アスンシオンとは都市の大きさ、華麗さの違いが実



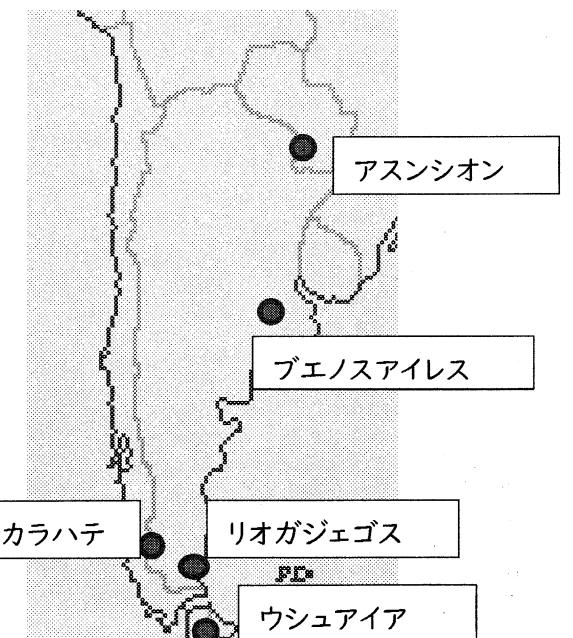
感されました。大統領府と大聖堂を見学したのち、観光名所となっている芸術の通りカミニートに散策。原色の家並み、小さな広場で作品を並べる未来の画家たち、タンゴを踊って寄付をあおぐ大道芸人たちなど、異国の趣を味わった。

19時にホテルにチェックイン、4ツ星だとの



ことであつたが、入口ドアの鍵のはまりは悪く、部屋の設備や造りのレベルは中級ホテル以下。20時からアルゼンチンの代表的なダンス(タンゴ)を期待してディナーショーを見に行つたが、狭い舞台での踊りだけで前評判ほどではなかつた。期待が大きすぎたのか?

12時前にホテルに戻り、大急ぎで就寝。翌3月28日は3時45分にモーニングコール、寝た気がしない。眠い目をこすりながら4時15分に出発し、5時55分発の便に搭乗。



終戦直後の北海道旅行—2

菊川 年明

当時は青森行きといえども各駅停車です。青森に着いたのは翌日の夜中だったと思います。長い長い車中でした。当時の列車ダイヤはわかりませんが、参考までに戦後の混乱が治まり復興が進んだ昭和27年の時刻表が手許にありましたので、これで所要時間を調べてみますと、大阪 06:22 発青森行き普通列車が青森に到着するのは翌日の 13:57 です。所要時間は31時間 35 分です。私たちの乗った列車は終戦直後のことでしたから、40 時間近くを要したでしょう。

この間の車中で最も困ったことは排便・排尿です。尿だけに限れば男性は窓から用を足していましたが、女性はどうしていたのでしょうか。記憶にありません。蒸気機関車は列車を牽いて数時間走りますと、水と石炭を使い果たし、機関区のある主要駅で長時間停車して機関車をつけ替えますので、そのときを利用したのではないのでしょうか。

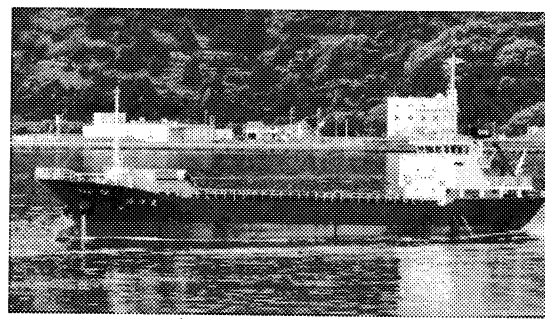
それから車中での食事のことですが、当時は駅弁など売っていませんからどうしていたのでしょうか。このことも思い出せませんが、多分保存の利く食べ物を持ち込んで、これを細々と食いつないでいたのではないのでしょうか。



DDT 噴射の様子

青森から北海道へ渡る青函連絡船に乗るころで、蔓延していた発疹チフスの病菌を媒介するシラミ（当時はびこっていた吸血昆虫）を退治するために、その頃よく言われていた「進駐の軍の命により」ということだったのでしょうか、関係機関の係官からDDT（粉末の殺虫剤）を振りかけられました。衣服、頭、襟元、襟首から背中へかけてDDTを噴射されるです。DDTを噴射された後の姿はさながら白いお化けのようでした。

これが済むと、証明書の代わりに手の平にスタンプを押してくれるのです。乗船するときはこのスタンプを見せなければなりませんので、それまでは手を洗うことができません。



199 型と同型の貨物船

青函連絡船ですが、本来の船は戦争中に大方が撃沈され、残っていた船は進駐軍が徴発してしまっていたので、就航していたのは現在の199型（199トン）位と思われる小さな貨物船でした。船首には「大正丸」と書いてありました。多分大正時代に建造された老朽船だと思われます。

貨物船ですから客室はなく、乗客の居場所は穴蔵のような船倉でした。それでもやっと乗船でき、15 時間くらいも乗っていて港が見えてきましたので、函館に着いたと喜びましたら、嬉喜びで青森へ逆戻りでした。津軽海峡の冬の時化に抗しきれなかったようでした。この船で特筆すべきはトイレです。甲板の舷側から人が跨げるように板を突きだして作った応急のトイレで、排便口の下は波立つ海面でした。

(つづく)

きょうみ 森森

このコーナーは、会員の紹介をいたします。仲間の新たな魅力をお伝えするものです。

今回は、村上 雄之 さん（2011 年入会）

タイムマシンに乗れるとしたら、平城京の時代に戻り、始まったばかりの政治や人々の生活を見てみたいです。

座右の銘は「急がば回れ」です。

思い出深い映画は若い頃に観た「禁じられた遊び」です。

好きなスポーツは、登山とサイクリングです。就職してすぐにワンダーフォーゲル部を立ち上げました。現在も「山歩会」をつくり、10 人ほどの友人と毎月散歩しています。

クラシック音楽が好きで、ブラームスやチャイコフスキーをよく聴きます。



村上雄之さんは、ダイモンジソウの花のように自由を愛し、人に対して好意的で節度を持って対応されます。

長らく山歩きを続けておられるだけに、野草の遊び方にもお詳しく、エノコログサを使った動物作りを里山グループの女性に伝授。それが今ではパトロールグループにも伝わって、イベントの時に子どもたちに教えたり、お土産に渡したりして活用されています。

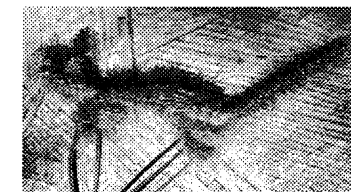
私の故郷は、宮崎県です。山紫水明と山あり、川あり、海ありが自慢です。

愛読書は、ノンフィクション、エッセイなど。現在は、以前に買った本をゆっくり味わっています。

「若い頃、よく頑張ったために今あるんだ」と自分を労いたいです。

今、熱中していることは「男の料理」で、今後はイタリア料理に挑戦したいし、また懐かしい母親の手料理の味を再現したいです。

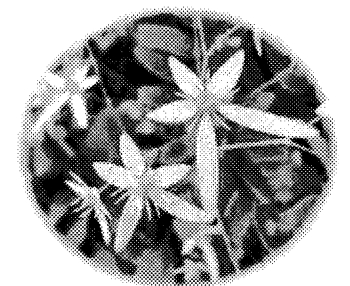
4 本のエノコログサで作ったリス



人生最期に食べたいものは、故郷の隣の農家の主婦が作る山菜たっぷりの「ちらし寿司」です。

ペットとの思い出。10 歳頃、迷い込んできた子犬の猟犬。名前は「ジョン」。私が下校する時刻になると、いつも村の入口まで迎えに来てくれました。私を見つけると尾っぽがちぎれんばかりに振ってくれました。

私の好きな花は、深山の谷川に咲く「ダイモンジソウ」です。白く小さな花でいながら、どこか誇らしげなところが好きです。



ダイモンジソウの花言葉
「自由」「好意」「節度」

「人と自然の会」の魅力について。私の育った故郷は、低い山々に囲まれた小さな盆地で春になると若葉やツツジが咲き誇り、現在のならやまにどこか似ている感じがします。

新ならやま投句箱

俳句

ほととぎす声の主はいずこにや

打水の後に六腑に麦酒播き

水茹や友の顔見ゆ定期便

木漏れ日に白むらさきのがく紫陽花

紫陽花の雨の宇治川十石舟

早苗田や空を壊して風渡る

息弾む大屋根リング夏の風

もじずりの並びて想い右左

人も犬も片陰拾う散歩かな

梅雨晴れやひとひらの雲流れゆき

凜として路地裏に咲くヤマボウシ

川柳

梅豊作哀し何処も大豊作

指よりも手足を動かせジムだから

古古古米流行語大賞取れるかな

猫いびき川の字の枕元

年金が増える政党どこかしら



菊川 年明

羽尻 嵩

豊田 浩代

小島 武雄

藤原 勲

山本 美智子

國方 まり子

坂東 久平

古川 祐司

阿部 和生

内河 洋文

柳司

のぶ

猫じゃらし

たけちゃん

明るい未来

新ならやま投句箱への投句 ありがとうございます 今後ともよろしくお願いいたします

短歌

カモ達が北に帰った池の朝

静かな水面光眩しく

家々の生け垣にぎわすサツキかな

小は花笠大はパラソル

梔子の白鮮やかに梅雨めくや

伏見の街に香り漂う

悠久の時の流れに身を任せ

鳳凰に乗り飛鳥の世界へ

雨樋に來たりて鳴ける燕の子

巣立ちの祝い告げて飛び去り 清原 加代子

涙枯れ健気な姿紫陽花に

日照り恨めし梅雨もどかしき 谷川 雅邦

初句会もつともの向上心

集える顔は皆青春

豊田 浩代

次号締め切り 八月二十日 投稿先 田中善英 and5117@nifty.com

行事案内

公開イベント

夏だ！休みだ！里山で遊ぼう！

奈良県は7月と8月の2カ月間を「山と川の月間」として山や川など自然に親しむイベントを開催しています。この取り組みに協賛して、ならやまの地で公開イベント「夏だ！休みだ！里山で遊ぼう！」を開催します。

県内在住の小学生とその家族に参加していただき、みんなで自然に親しめるイベントです。会員の皆さまのご協力により、みんなが楽しめるイベントにしたいと考えますので、ご協力をよろしくお願いいたします。

記

- 日時 7月12日(土) 10:00~15:00
通常の雨天中止条件に加えて、熱中症特別警戒アラートが発せられた場合は中止とし、7月13日(日)に順延。
- 場所 ならやま BC、里山林、ビオトープ
- 概要
10:00~ オリエンテーション
10:30~ 飯盒炊爨、カレーづくり
13:00~ 水生生物観察、里山遊び
14:30~ 里山の話など
15:00 終了予定
- 参加費用 1000円/人(未就学児除く)
- 募集人数 小学児童と家族あわせて50名
- 申込方法 6月20日からメールにて受付

以上



担当：福田、有元、田中

8月月例研修会

富井 忠雄

夏の比叡山・ガーデンミュージアム
比叡・延暦寺・坂本門前町の散策

比叡山は標高848m。日本仏教の一大聖地である比叡山延暦寺があり、世界遺産に登録されています。延暦寺には、東塔、西塔、横川の三塔のエリアがあり、それぞれに多くの寺院や堂宇があります。ガーデンミュージアム比叡は琵琶湖や京都を望む山上にあり、庭園にはモネをはじめ、ルノアール、セザンヌ、ゴッホが夢見た自然の風景が再現されています。咲き誇る花々に囲まれた印象派画家たちの美しい作品が私たちの心を癒してくれます。

坂本の町は、日吉大社・延暦寺の門前町として栄え、北国と京都を結ぶ水路の要衝地であり、穴太衆積みの石垣が続く里坊の町です。

記

- 日時:8月5日(火) 雨天実施
- 集合:近鉄奈良駅前 旧奈良商工会議所前
8時30分集合
- 持物:雨具、飲物、数物
- 会費:10000円(バス代・昼食・拝観料)
- 申込先:富井忠雄 携帯:090-7496-8342
メール:t-tomii@ares.eonet.ne.jp
- 行程:近鉄奈良駅前 旧商工会議所前 8:30
—京奈和道—京都東 IC—比叡山ドライブウェイ—ガーデンミュージアム比叡(見学・昼食)—延暦寺—坂本の町並み(西教寺・日吉神社・滋賀院門跡)—西大津バイパス—近鉄奈良駅前 17時頃



2025年6月度 幹事会報告

開催日：5月27日

I. 会計・総務より

- ・活動費用に充当する範囲での事業収益は奈良県との協定で認められていることを確認。
- ・会員動向：会員数130名(家族会員13名)
- ・会計：6月の会計締め切り日は18日

II. 活動・行事に関する議題・懸案・確認

1. 3ヶ月活動スケジュール検討・確認

- ・佐保台小学校の田植え(6/5)
- ・佐保台小学校放課後自然教室(6/21)

2. ならやまプロジェクト関係

- ・協働活動：シイタケ榎木本伏せ、アダプト
- ・チップーの修理ができた。使用方法に関する注意事項を徹底する

3. 2025年度イベント関連

- ・平城京跡休耕田の草刈り：9月は夏草繁茂が著しいことを想定し、ハンマーモアのレンタルを検討
- ・佐保台小学校5年生の田植え(6/5)、TV局、新聞社などに連絡
- ・佐保台小学校放課後自然教室(6/21)の参加者は6/11までに決定して欲しい
- ・山の日川の日(里山で遊ぼう)(7/12)、予備(13日)、6/20受付開始。スタッフ募集

III. 助成金関係

- ・進捗状況、申請状況を確認

IV. 特定議題

- ・組織改正：自然工作Gを自然教室Gに統合

V. 広報関係

- ・会報誌の編成、執筆者の確認

VI. 報告・連絡事項、その他

1. 6/10月例研修会(伏見)28名参加予定
2. 5/19自然教室(枚岡/石切方面)田代先生を迎えて実施、12名参加
3. ボランティアセンターのパネル展(6/8-7/4)に参加

次回幹事会は6/24(火)中部公民館14:00



バイクでならやま活動日の帰りスーパーに寄った。買い物を済ませ駐車場を出て数m、す

ぐに後ろからパトカーに呼び止められた。私?? 不思議な顔をして止まったら「あんた今横断歩道に人がいたのに止まらなかったやろ!」と。「ええ〜! 確かに向こうの端に立っておられましたけどまだ歩道の上でしたし・・・」「横断歩道に人がいたら止まるのがルールです」「ええ〜でもまだどちらに歩いて行かれるかわからないでしょう・・・」

側道へ誘導され「とにかくルールですからパトカーに乗ってください」と。いくら抵抗しても無駄と分かった。免許証を見ながら何か書類に書かれてる様子、「一週間以内にこの振込用紙で振り込んでください」「おいくらですか?」「6,000円です」「この歳まで無事故無違反優良運転手なんですけど、何か特典ありません?」「笑笑・・・」笑われただけだった。

帰宅後青い紙をよく見ると、「歩行者を妨害した」ところにチェックが入っている! ハア〜?? 妨害した〜?? 納得しないが翌日振り込んだ。これで済んだと思ったのに10日後「臨時認知機能検査通知書」がきた。1カ月以内に検査を受けるようにと。なんでやねん、あ〜あ・・・75歳以上の方、ダブルパンチですから十分お気を付けくださいね。

7月ならやま活動&行事予告

*ならやま活動 7/3 協働活動日

*公開イベント 7/12 予備日7/13

発行：奈良・人と自然の会

URL : <http://www.naranature.com>

編集代表 Mail: editor@naranature.com

編集委員：青木(幸)・尾崎・柴田・千載
田中(善)・戸田

表紙写真：薪割場の風景です。(薪玉一杯)